

現代を自在に語る
アンサンブル

Ensemble NOMAD

#4

- 佐藤紀彦 (指揮)
- 西澤幸世
- 木ノ原浩亮
- 松浦英夫
- 西谷隆
- 野口千代史
- 甲斐由子
- 高野真生
- 山本真
- 文木真子
- 藤原祐哉
- 中川賢一



profile

1997年、ギタリスト佐藤紀彦によって結成された注目アンサンブル。若手の才能ある演奏家が集まり、最新なアイデアによるプログラムにより、20世紀そして現代作品を演奏。「NOMAD」(nomad、nomad)の名称にもあわしく、幅広いレパートリーを音響に上げる。メンバーは、常に15人以内の編成を入れ、編成もフレキシブルにさまざまな曲に対応する。

1998年4月から2年におおむね開演された19回の定期演奏会は、内外から高い評価を得る。近藤康徳、船岡俊夫のオペラ(リアの物語)、1999年2月新国立劇場ダンスアトロンNO.2、平林利子作品(フタゴシ)をオランダの作曲家M.J.ヴァル・アーによる編成で演奏初演、東京オペラシティで毎年開催される「コンダクション」や、サンクトペテルブルクのザマフ・フェスティバルでは、各国からも持ち寄られる新進作曲家の最新作の演奏会に出演、世界の「文化」を解きかかえる。2001年は、愛知芸術文化センター、札幌コンサートホールKITARA、大宮芸術センターなど各地で演奏する。

海外との交流も注目に値する。2000年にはオランダ、ベルギーに赴かれ演奏。2001年2月東京で開催された「HOLLAND MUSIC DAYS IN TOKYO」(オランダ音楽フェスティバル)に出演し、オランダと日本の音楽を演奏。シェンベルク没後50年の2001年には定期演奏会で氏の作品6種を、2002年11月には、東京で開催される「オーリニ・フェスティバル」に出演する。CDは、近藤康徳作品「種子」(Accord)、空の戦機「Accord」、神楽女社の夜り風を運ぶ鳥「Accord」が発売されている。

フランス、イギリス、日本、アメリカ、イタリア、カナダなど、世界各地の作曲家による室内楽作品を選びました。時の経過を静かに冥想する音楽から、私たちの身体そのものを刺激するものまで、多様な個性との出会いを期待して下さい。

佐藤紀彦

アンサンブル・ノマド 2002年度定期演奏会スケジュール

Ensemble NOMAD Concert Schedule in 2002/2003

日	日時	主な曲名
01	2002年 9月17日[土]	ケージ:亀裂音はか、メシアン:時の終わりのための器楽舞曲
02	2002年11月19日[土]	ラヴェル:序奏とアレグロ ドビュッシー:数種の午後 グリゼイ作品
03	2003年 1月28日[土]	シュトックハウゼン:マントラ シェルシ:コ・9ほか
04	2003年 3月25日[土]	アイヴズ、クリスチャン・ウルフ、ライヒなどの作品

東京オペラシティザイバルホール
電話:03-5353-0788
〒100 新国立劇場3-20-2
東京オペラシティ地下1F
※正統劇場台駅東口下車3分

2002年度アンサンブル・ノマド定期会員募集!

会員特典

①チケット割引

(チケット4回分 ¥12,000~¥10,000(郵送送料は別途いただきます))

②定期演奏会4回終了後の懇親会への参加

受付期間

2001年11月15日から2002年8月30日まで、
入会申込書、郵便振替用紙を送付いたします。